

編集後記

理事長 鈴木秀雄
(関東学院大学法学部教授)

レジャー・レクリエーションの概念そのものの広さ、加えてその概念把握の曖昧さから生じる“研究領域の輪郭のぼやけ (Fuzzy)”……、これを学際的研究領域 (Interdisciplinary Academic Domain) としてよいのだろうか？ この視点だけから捉えても、現在会員が飛び越えなければならないハードルは高くそして多岐にわたっている。その中でも概念の曖昧さからくる認識や行動そのものの曖昧さに対する論理的枠組みの構築、研究活動と実践活動との融合、実社会でなされている活動に対する機能分類や内容分析を通してレジャー・レクリエーション活動の位置づけや意味づけ、社会変革や社会構造の変化のときにおいて、研究活動の方向性を求めて研究活動の動向を探り、新たに補完すべき領域や新領域の開拓、など様々である。今後受託研究についても実績を重ね、内外からの期待に応えていかなければならないことは言うまでもない。

学会が発足してから歴史を遡り源流を辿れば、本年は32年目の年にあたる。『日本レジャー・レクリエーション学会の歩み-1964~1995-』の発刊にいたる経緯は、学会として本年第25回学会記念大会開催の年であり、学会としてもなんらかのまとめをする必要があるのではないかと論議を尽くし、タイトルにも25周年記念とは記さずに発足から現在までの時代を標記 (-1964~1995-) し32年間のまとめを試みたものである。

研究の自主性や主体性あるいは自由度は、当然個人の裁量に委ねられるとしても、ややもすると個人の研究課題は、自身の興味や関心のみにとらわれる嫌いがなきにしもあらずなので、領域として必要な研究の推進を活性化する観点からも、学会として不足している領域や強化すべき当該研究領域プロジェクトの設置などにより研究領域全体のバランスを考えていく必要がある。それにはまず現在までの学会としての研究の全体がどのようになっているかを会員一人ひとりが認識することである。学会

としての継続性の中で、学会の新しさを求めていることとするものであることから、『日本レジャー・レクリエーション学会の歩み-1964~1995-』の内容については、事実をより客観的に整理し、恣意的判断をできる限り避け、学会全体の資料提供の視点から編集することを試みたことは言うまでもない。学会会則などの整理も全てにわたり精査したが、改訂の手続が明示されていないものもあり、時代を緋いて理事長の責任において正確を期した。事務局の移転に伴う諸手続きの繁雑さの中にあってもその時々にはすべき事柄の確認も重要な学会運営の仕事である。

学会や研究の評価は、継続性と積み重ねによるところが大きいのであるから、会員一人一人の絶え間ざる努力の延長線上に、学会の存在があることを確認しておきたいと思う。この『日本レジャー・レクリエーション学会の歩み-1964~1995-』の発刊により、学会員の研究動向、領域が明確となり、現会員にとって新たな研究領域の開拓と共に、会員相互のコミュニケーション、さらにはネットワークの確立に貢献し、今後の研究に関する方向性を確認するための一助となって欲しいと期待するものである。『日本レジャー・レクリエーション学会の歩み-1964~1995-』の発刊を通し、多くの先人の努力により、前身である、懇親会、研究会、レクリエーション学会から、日本レジャー・レクリエーション学会へと時代と共にその名称や果たすべき役割も変化させつつ、日本学術会議所属の学術団体として大きく成長し現在に至っている。これらの多事にわたる先人が果たしてきた努力にまさる諸活動により、学会が抱える諸課題を会員の意志(総意)をもって解決していく姿勢が重要であり、それこそが先人へのご恩返しであると共に、これからの日本レジャー・レクリエーション学会にとっても求められている方向であることを改めて認識しつつ、編集後記としたい。おわりに、発刊にあたり、快く広告掲載やご寄付を頂いた企業・個人の皆さんに心からのお礼を申し上げます。酷暑にも関わらず会長はじめ多くの企画委員、編集委員の皆さんから精力的な御協力をいただき、そして合同印刷(株)の中澤淳氏より多大の御支援とご協力を頂

いたことに重ねての感謝の意を表したい。

尚、表紙の題字“歩み”は浅田隆夫現会長に、学会の歴史32年間におよぶ全てに関わられた万感の想いを込めて書いていただいた。We have come a long way... and hang in there.

編集企画

浅田隆夫 (会長)
前野淳一郎 (副会長)
木下茂徳 (副会長)
秋吉嘉範 (副会長)
高橋和敏 (副会長)
黒田信寛 (副会長)
鈴木秀雄 (理事長)
石井允 (常任理事)
坂口正治 (常任理事)
下村彰男 (常任理事)
杉尾邦江 (常任理事)
寺島善一 (常任理事)
芳賀健治 (常任理事)
松浦三代子 (常任理事)
松田義幸 (常任理事)
宮下桂治 (常任理事)
師岡文男 (常任理事)
油井正昭 (常任理事)

編集委員会

鈴木秀雄 (委員長)
石井允
坂口正治
下村彰男
松浦三代子
西田俊夫
大森雅子
嵯峨寿
荒井啓子